



第五十七回全国子ども会育成中央会議
研究大会 報告

広報部長 吉田 金 豊

第五十七回全国子ども会育成中央会議・研究大会が、令和六年十一月十六日～十八日に沖縄県那覇市で開催されました。新潟県内からは7名参加しました。初日は、表彰式があり、その後、陸上競技のマスターズ世界記録保持者でもあります、譜久里 武 様の講演がありました。講演の内容は、写真の通りです。教室前のお約束、子どもたちへの指導方法、夢を叶える七つの法則など、大変、子ども会の育成にも共通するお話となりました。内容を文章にするよりも、写真を添付させていただきましたので参考になればと思います。来年は、熊本大会となります。是非とも多くの皆様のご参加をお願いします。



教室前のお約束！
教室前ミーティング(5つルール)
①出来なくても良いから一生懸命やる事！
②他の人(子ども)と比べない！
③ふざけない！
④コーチのお話を一生懸命聞く事！
⑤仲良くして良い雰囲気を作る事！

子供達への指導方法

- ・環境作り(安心感)
- ・自分が楽しいと思う
- ・変化をしっかり観る
- ・褒める
- ・イメージ指導
- ・ユーモア※おやしギャク
- ・いろんな体験を提供
- ・長期的視点で焦らない

夢を叶える7つの法則

- ・僕は30代からそれをしてすべてが好転した。
- ①ふりむかず(過去)
- ②悔やまず(過去)
- ③先を観る(未来)夢を持つ！
- ④ときめく(今)
- ⑤たのしむ(今)
- ⑥決断した事を継続する(今)
- ⑦失敗を恐れない勇気を持つ。(今)

今後の予定

- 県子連総会・会員研修会(新発田市生涯学習センター) 五月十八日(日)
- 第一回理事会・創立五十周年記念事業実行委員会(新潟市東区プラザ) 六月一日(日)
- 第一回リーダースクラブ集会(柏崎市市民プラザ) 六月八日(日)
- 関プロ総会(千葉県習志野市トイセイホテル&セミナー幕張) 六月二十一日(日)～二十三日(月)
- 第一回JL中級研修会(国立妙高青少年自然の家) 七月十二日(土)～十三日(日)
- 全国コーディネーター研究協議会(全子連ビル) 七月十二日(土)～十四日(月)
- 関プロJL研修会参加者説明会
- 第二回三役部長会(柏崎市市民プラザ) 七月二十七日(日)

令和六年度全子連表彰 お二人が受賞されました。

今年度、新潟県から全子連表彰を受けられた方は、岡田政枝さん（高市）、加藤豊春さん（長岡市）のお二人でした。

長年にわたる子ども会活動へのご尽力に改めて敬意を表します。

岡田さんは十一月に沖縄で行われた全子ども会育成中央会議に出席され、開会式に行われた表彰式で全子連の美田耕一郎会長から表彰状と記念品を授与されました。岡田さん



岡田政枝さん



加藤豊春さん

紹介いたします。

また加藤さんはご都合により、中央会議表彰式はご欠席となりました。そこで十二月一日（日）長岡市中央公民館で開かれた第二回県子連理事会で、須田貴子会長から表彰状と記念品をお渡ししました。理事会に出席した県子連理事・役員の方から、加藤さんがこれまで長年にわたって子ども会活動に関わり、長岡市子ども会連絡協議会の企画・運営に努めてこられたご努力に温かく大きな拍手が送られました。

子ども達と共に育む日々

岡田 政枝

第五十七回全国子ども会育成中央会議において、栄えある表彰をいただきました。ひとえに地域の皆様、先輩、行政の担当者様をはじめ私に関わってくださった周りの方々のご支援、ご指導によるもので誠に感謝申し上げます。

私と子ども会の関わりは、現在の地に引越してきて長男が小学校に入学と同時に。単位子ども会の役員が順番とのことで、役員を引き受けることになりました。当時子ども会の役員はPTAの補導部の所属で、PTAの役員にもなりました。

地域組織はとても良く、子ども会活動がしやすい環境が整っていて、活気があり、盛り上がりつつあります。

その後にはPTAの副会長に推薦され、同時に育成会の役員の仲間入りとなりました。育成会の年間行事の検討、各種毎の準備等で多忙な日々でした。その頃に市子ども会連絡協議会発足の準備委員会に関わり、会議を何回も重ねて市子連が誕生し、理事となりました。その後には上越地区子連の理事に加わり、皆様からいろいろのご指導をいただきました。

その後には先輩が県子連理事をおりにすることになり、県子連の要望により女性理事とのことで私が指名を受

け、県子連との関わりが始まりました。

本来子ども達は遊びの中で新しいものを発見し創造していくものだと思います。子ども達に「してやることよりさせてやる」大切さ、子ども達自らの力が発揮できるような支援を心がけ、子ども達の健やかな成長を願い、「子どもの手による子ども会」に向けて努力し、子ども達を見守りました。

ジュニア・リーダーの関わりは娘が中学校入学と同時に。娘がジュニアリーダーズクラブに入会した時に、リーダーズクラブの育成・指導者として活動に関わって欲しいと誘われ、役員を引き受けることになりました。子ども達の要望を受けとめられるように、自ら基本的な学習をし、自然体験、仲間づくり、屋外教育、バルーンアート、KYT、救急法などを学び、安全・安心で楽しくワクワク・ドキドキするような活動に取り組みました。それには上越地区子連、行政、青少年学習施設わくわくランドの職員及びユース・リーダーの皆様の協力が必要で、皆様が私を温かく見守り後押ししてくださいました。今日があり、ここまで歩んでこられたのだと振り返っています。この後ももう少し子ども達と共に育む日々を送り、次の準備が整うまで皆様に応援をさせていただきたいと思えます。よろしくお願



第四十二回 子どもの遊びの広場 in 直江津屋台会館

県子連副会長 井上 智子



直江津屋台会館



射的 (新発田市子連)



ブラバン (上越市子連)



バルーンアート (加茂市青少協)



積み木遊び (上越地区子連)

新潟県子ども会育成連合会主催の活動「子どもの遊びのひろば」は、子ども達のつながりと、集いの場を提供する目的で県内各地で毎年開催されています。

平成十六年に新潟県を襲った中越大地震、新潟豪雨の復興を願うと共に、子ども達が、遊びを通して、元気になってほしいという願いから始まり、今回で四十二回目を迎えました。

今年度は、上越市教育委員会の共催も得て、直江津祇園祭を彩る十九町内の屋台が保管されている直江津屋台会館で開催されました。この日は天候にも恵まれ、沢山の家族連れや、子供たちが珍しい遊びや楽しい遊びに夢中になっていました。昔子どもだった大人も夢中になっている姿に思わず顔がほころんでしまいました。



きらきらシャボン玉 (長岡市子連)



ストラックアウト (三条市子連)

また各役員同志も交流でき、刺激をもらえました。参加した子ども会は写真で紹介した他に、上越市柿崎区、柏崎市、妙高市子連、そして国立妙高青少年自然の家は木の実や枝を使った自然物クラフトの工作を提供しました。来場者数は二三八人。来年度は中越地区燕市で開催する予定です。



新潟市子ども会連絡協議会の現状について

新潟市子ども会連絡協議会 会長 吉田 金豊

皆さんの地域では、コロナ禍以降、活動は元に戻っていますか？

新潟市子連では、コロナ禍で加盟団体が激減し、また、少子化もあり、年々減少傾向にあります。

十年くらい前までは、北海道小樽市との交流事業もあり、市子連としての活動も盛んでしたが、現在は交流事業もなくなり、主催事業でもある「子ども交流会」についても参加者が集まらず中止となりました。

また、コロナ前までは、新潟市内で活動している四団体（ボーイスカウト・ガールスカウト・海洋少年団）でワンパランドを開催していましたが、コロナ禍により独自の開催ができなくなり、ゆいぽーと主催の「ふたば彩」の中にブースとして「ワンパランド」を開催しています。今年は、二月十六日（日）に開催しました

市子連は紙皿コマ、ボーイスカウトはネーム入り革細工、ガールスカウトは段ボールカーリング、海洋少年団は手旗ゲームを企画。当日は多くの家族連れで賑わいました。

ふたば彩は、様々な団体が参加しています。左のチラシをご覧ください。今後、市子連では、現在、ジュニアリーダークラス、ユースリーダークラスは登録ゼロの状況ですが、三年以内には、登録者が増えるよう、役員一同頑

張って行きます。また、今後、少子化、団体数の激減がやってくると思いますが、その時でも対応できるように、新潟市内で活動している団体とも連携を強化して活動します。皆様よろしくお願いたします。



2月 冬のゆいぽーとで寒さをふきとばそう!!	
2月19日	ミニバス体験会 (新潟市子連)
2月20日	初めての体験 けん玉体験 (新潟市子連)
2月21日	冬くまの体験会 (新潟市子連)
2月22日	ゆいぽーと体験会 (新潟市子連)
2月23日	おやこおそび体験 (新潟市子連)
2月24日	ペーパークラフト体験 (新潟市子連)
2月25日	シャボンアート (新潟市子連)
2月26日	みんなのアート (新潟市子連)
2月27日	おやこおそび体験 (新潟市子連)
2月28日	おやこおそび体験 (新潟市子連)



お知らせ

来年度から便りは年二回の発行に変わります。写真を多くする等紙面を工夫して、皆様から楽しみにしていただけの便りの発行に努めてまいります。よろしくお願いたします。

お詫び (訂正)

前号(145号)3ページ上段表題下の日付「8月7日」は正しくは「7月6日」でした。お詫びして訂正いたします。

下越地区

夏祭りみんなでダンス

燕市吉田西太田親子会

五年 関 愛乃

私達の西太田親子会は、吉田祭り、大きな山車と手作りのみこしをかついで町内を回り、ダンスのひろうをします。

午前中はとても暑かったですが、みんなでおみこしを「ワッショイ、ワッショイ」とかついで町内をまわると地域の人もたくさん見に来てくれてとても盛り上がりました。

そしてお祭りで一番力を入れたのが、ダンスひろうです。子ども達、お父さん、お母さん、地域の未来会の人達、全部で六〇人以上でおどります。一か月以上ダンスの先生に教えてもらって、練習しました。

ダンスは「アイドル」をおどりました。アイドルチームとオタ芸チームとわかれておどりました。私はオタ芸チームでサイリウムを持ってはつぴを着てオタ芸風のふりつけでおどりました。うでをふり回してかけ声をかけたりして面白いふりつけでした。大人の人も一緒におどって皆がそ



ろうとてもかっこよくなりました。

アイドルチームも光る衣装を着てかわいいアイドル風のダンスをおどりました。

私はダンスをおどったことがあまりなかったのでむすかしかったです。皆で練習していると、とても楽しかったです。

ダンスの結果は協賛会長賞（優勝）でした。西太田は二年連続の優勝だったので、うれしかったです。

ダンスひろうの後は吉田の商店街を山車を引いてまわりました。あたりは暗くなっていて、山車にかざってあるちようちんの明かりがつくと、とてもきれいでした。たくさん歩きましたが、楽しくてあつという間でした。

次回は六年生になり最後のお祭りになるのでまた参加したいと思っています。

中越地区

楽しかった冬のお楽しみ会

長岡市北松ヶ丘子ども会

四年 山内 陽咲

冬休みに子ども会で、冬のお楽しみ会がありました。会場に行くと、いいにおいがしてました。それは、地いきの人たちと、ポランティアの人たちがとんじるや、もち米をむすじゆん備をしていたからでした。

最初は、おどりを見ました。アメをもらえたことがうれしかったです。おどりながら風船をわかって、こわかったです。しまいも、たこも、はく力があつてかっこよかったです。しまいに手をかんでもらいました。かんでもらうとしあわせになれるそうです。次におもちつきをしました。最初にもち米を、ポランティアの人たちがつづいていました。理由は、つき方を教えるためと、もち米を飛ばさないようにするためだそうです。私は初めてもちつきをしたのですがじつさいについてみると、きねが重く、思うようにつけませんでした。食べてみたら、とてもおいしかったです。きなこ、あんこ、のりと、しょうゆ味があつてどれもおいしかったけど一番好きだった味は、とんじるの中におもちを入れる食べ方でした。次にビ



ング大会をしました。大人もさかしく、けい品は、ねぎやトイレットペーパー、大きいチュッパチャップスがありました。どれもほしかったけど、ぜんぜんビンゴにならなくて、四〜五人ビンゴして少しあせったけど、ビンゴして、ほしつセットをもらえてうれしかったです。ビンゴ大会では、みんなもりがつてました。その後みんなですうじをしました。ほうきをかけたらしょうじをかけた。クリスマスツリーのかたづけもしました。みんなせつきよくてきうごいてて良いなと思いました。

佐渡地区

夏の始めはもりだくさん

佐渡市琴稲子ども会

四年 鈴木かなで

わたし達の地いきでは、毎年夏にほつ仕作業と花火大会をしています。

いつも夏休み、最初の一週間はラジオ体そうをします。班長がラジオとスタンプを持ってきてくれ、近くの広場でやっています。今年は雨で一日少なくなりましたが、民生委員さんも来てくれたけど、とてもぎやかなラジオ体そうでした。地いきの人に元気にあいさつが出来てすごく気持ちのよい朝でした。

ラジオ体そうの一日目は、決まってほつ仕作業をします。家から、トングや軍手、ごみぶくろを持ってきて、わたし達の地いきをすみずみまで歩いて回ります。大きい物は、木の板や発ぼうスチロール、小さい物は、はり金やたばこのすいがら、ガラスや紙くずなどが落ちていました。小さな子



どもや犬やねこなど、はり金やガラスはきけんです。それに、わたし達の地いきがキレイだと、気持ちがいいし、観光で来た人達が、「またここに来たいなあ」と思ってくれるとうれしいからです。みんなで話しながらするごみ拾いは楽しかったし、終わって飲むジュースがすごくおいしかったです。

この日はもりだくさんで、夜は花火大会をしました。夕方に漁港の広場に集まって、みんなで楽しみました。始めのうちは明るくて、小さな子に火のつけ方を教えてあげました。

風向きによってけむりが目に見ることもありました。だんだん夜になっていくにつれて、花火がキレイで明るく感じました。手持花火と線香花火の後は打上花火です。夜空に上がる花火はキレイだなあーと思いますながら見ていました。この夏の暑さをふき飛ばしてくれる花火大会でした。

毎年夏休みの始まりはワクワクします。来年の夏もおもいっきり楽しみたいです。



上越地区

小学校最後のみこし巡行

妙高市中町子ども会

六年 金子 智咲

私の町内は五月に「風祭」というお祭りでもみこし巡行を行います。これは妙高市にある白山神社のお祭りで、春の風が強くなるとされる五月一日と二日に行われます。一日は十町内でみこし巡行が行われました。私の町内もみこし巡行を行いました。

まず、町内の神社に集合し、神社の中に保管してあるみこしを出しました。神社の中はほぼ見る機会がないので、とても興味深かったです。見まわしました。みこしを出したら、長いロープを付けて、いよいよここからかけ声にあわせて引つ張り、町内を一周してから白山神社を目指します。

私の町内は子どもが五人しかいません。そのため、町内の役員の方々も参加し、みこし巡行を行います。私は今年、かけ声にあわせてたいこをたたく役目になりました。歩きながら「わっしょい」のかけ声にあわせてたいこをたたきます。町内をねり歩きながら白山神社を目指すので、約一時間くらいたたき続けます。うでがとても痛くなるけど、途中休けいをはさみ、のどをうるおし、うでを休めて最後までがんばりました。町内の方々が高れいの方が多いのです

が、全員すごく元気なので、私もはりきってたたき続けました。実は、みこしは車道を歩くので、交通整理をしてもらいながら歩いたのですが、この時、みこしが車扱いなことに気づいておどろきました。赤信号を停止して、青になつてから進んだので、不思議な感覚になりました。

白山神社に到着した時は達成感でいっぱいになりました。みこしの後は、屋台でいろいろなものを食べました。とてもつかれたけど、がんばった後のごはんはいつもより少しおいしく、春の風が心地良く感じました。六年間最後の巡行が無事に終わって良かったです。



編集後記

三月に入り、ようやく春の息吹が感じられるようになりました。原稿をお寄せいただきまして皆様から感謝申し上げます。
(文責：事務局 佐藤 裕)

【編集発行】

一般社団法人
新潟県子ども会育成連合会
〒九五一-一八三三
新潟市中央区白山浦一-三〇〇
電話 〇二五-三三〇-五九八
FAX 〇二五-三三〇-五九二